



会員交流広場 サロンとかいがい Salon de Y Y

皆さま、最近の調子はいかが？ 何していますか？ 会員さんの近況が届きましたよ〜♪

特別養護老人ホーム勤務 生野のぞみさん
施設裏庭に苗を植えたら庭っぽくなりました。花木にも個性があることを知りました。私には難しいけれど待つことが大事なことも。花木によって季節が巡る、というのが少しわかってきましたよ〜。

新田和子先生
昨年1月から、「ハイホー（グループホーム）」と「ゆい（就労B）」では様々なコロナ感染にまつわることで緊張の日々が続いています。利用者、家族、職員の感染を経験しました。幸いみんな元気で過ごせています。エッセンシャルワーカーと言われる職員の奮闘に感謝です。

特別養護老人ホーム勤務 荒木淑子さん
私はもう少しおとなしく生活していきたいと思います。利用者との面会もままならず、お別れしなければならない家族を見ているので、私にできることはできる限りやりたいと考えています。生活圈以外の外出をする気力は出ませんが荒木は元気ですよ！

長尾恵理子さん
介護の仕事を体調を崩して退職。整骨院を始めて4年目、日々地域の方々に支えられています。動ける体を維持するのは大変。姿勢や生活習慣、おしゃべりとポジティブな心が大切だと実感しています。明日の自分のために、自分自身の心身鍛えていますか？ そしていたわっていますか？

会費・寄付金等振込先

年会費：正会員 3,000 円/年 賛助会員 一口 10,000 円/年 団体会員 20,000 円/年

◆株式会社 ゆうちょ振替口座 記号 10170 番号 80995501

◆三菱UFJ銀行 神田支店 口座番号 普通預金0138637

□座名義 特定非営利活動法人 東京YWCAヒューマンサービスサポートセンター

発行所 特定非営利活動法人 東京YWCAヒューマンサービスサポートセンター

発行人：石井須美子 編集人：長尾恵理子 大庭 幸

〒101-0062 東京都千代田区神田駿河台一丁目8番11号東京YWCA会館216室

TEL・FAX 03-6273-7134

HP <http://ywca-hssc.org/> 東京YWCAヒューマン で検索

2021年12月27日～2022年1月5日 冬季休業いたします。

編集後記：今年も東京YWCA会館入り口には、いつものクリスマスツリーが飾られています。いつものリースが点灯しています。変わらないことにホッとします。(Y.O.)



特定非営利活動法人

東京YWCAヒューマンサービスサポートセンター

会報

見守り

支え

伝え合う

私たちは、福祉・介護の仕事のゆたかさを広げる活動を推進します

23号
2021年12月

理事会のご報告

特定非営利活動法人東京YWCAヒューマンサービスサポートセンター理事長
田島 誠一

11月17日、第31回理事会を開催し、2021年度上半期の事業報告及び実績報告について審議しました。

講師派遣研修はコロナウイルス感染症の影響を考慮しZOOM研修も取り入れて実施してきました。講師派遣研修で大切にしているオーダーメイドの研修が少しずつ広がっています。

「東京都保育士等キャリアアップ研修」は、12回中6回実施しました。飛沫感染・接触感染防止、抗原検査をして対面で実施しています。

「福祉のしゃべり場」も定期的に行われるようになり、会員間の交流の場として定着しつつあります。

上半期の実績は2,131万円の収入予算に対し1,600万円となっています。厳しい環境の下ですが、ほぼ順調に事業を実施できていることに感謝です。

なお、これまでできていなかった、理事の交通費（実費）を支給することとしました。今後も当会の事業を暖かく見守り御支援いただきますようお願いいたします。



特集 「ボランティア活動自粛」活動再開への「つながり」を紡いでいく。

多くのボランティア活動により、福祉施設・事業所は支えられてきました。コロナ禍となりその活動は中止。今もその状況は続いています。ボランティア活動によって利用者の生活は豊かになり、職員は支えられ、その働きは利用者・家族そしてボランティア自身（当事者自身）の生きがいとなり、それぞれの生活に彩りを加えるものであったと思います。長引く活動自粛の中、再開を待ち望んでいるボランティアの方々に話を伺いました。

「第10回 福祉のしゃべり場」報告

2021年9月25日（土）13:30～15:00（オンライン開催）

《あなたが主役の福祉のしゃべり場～皆でお悩み解決時間～

ストレス発散！良いエネルギーを取り入れよう》 参加者9名

お悩み → 対面の会議が減り、常勤と非常勤職員の対立的な関係が増し、孤立して業務を行うことがストレス。

エネルギー → 今日の自分の目標を持ち仕事に臨む。相手を思う言葉を使う、互いにねぎらいの気持ちと言動があると働きやすい。雑談からコミュニケーションは生まれ、連帯感につながる。ストレスや愚痴を目標に変えれば良いと思えた。

お悩み → ピンピンコロリのピンピンとコロリの間の時間の過ごし方について、自分の記憶、体力に危うさを感じてくると、人の慰めの言葉を素直に受け止められない。

エネルギー → 認知症の親が「何度も同じことを言ったらごめんね。」と前置きしてから同じ話をする。心づもりができ、話を受け止めやすい。相互関係なので支援の受け方も学べると対処しやすい。

自分の気づきを学びに → 若き日に、重症心身障害児施設で聞いた利用者やご家族の本音が心から離れずサポートしきれない自分がいた。現在、認知症デイの現場でも同じことを感じ、今度はデイの現場に関わりながら勉強してカウンセラーの資格を取り、技術も用いて介護家族に寄り添えるようになった。

などなど、今回も話題は満載でした！

次回「第11回 福祉のしゃべり場」 ご参加おまちしています♡

2022年 1月15日（土） 13:30 ～ 15:00

会場 東京 YWCA 会館 ZOOM でも参加できます。

《遅ればせの新年会 チャレンジタイガー🐯

新しい自分への第一歩！ 愚痴から目標へ》

参加ご希望の方は、HP お問い合わせのページからお申し込みください。

状況により zoom のみで開催する場合があります。HP にてお知らせします。



多機能ホーム「新座市暮らしねっとえん」のボランティアKさん

私は2020年3月から、ボランティアをお休みしています。

多機能ホームからは毎月「通信」が送られてきます。敬老の日には心のこもった手作りのカードが届きました。又、100歳を迎える利用者の誕生日のカード作りに参加させていただきました。ボランティアの私を覚えていてくださった暖かい言葉をいただいた時は、感謝の思いでいっぱいになりました。

認知症カフェでのボランティアAさん

コーヒーなどの準備・配膳をしていた認知症カフェが市からの指示でお休みとなって1年半。カフェのスタッフ、ボランティア15名が認知症カフェへの思い等を書き、「袖振り合うも認知症の縁～カフェコロナの最中に」という冊子を制作しました。他の仲間達もカフェの再開を待っていることがわかり嬉しかったです。

「誰でも食堂」のボランティアCさん

ボランティアで行われていた「誰でも食堂」が感染を避けるためにお休みとなりました。代わりに毎月最終日曜日にフードパントリーをボランティアで実施しています。施設からの愛を受けて活動できるボランティアは幸せです。

ハーモニカボランティアのBさん

コロナ禍が長引き休みが続き、ハーモニカを練習する機会もなくなりました。活動はもういいかなという気持ちが大きくなっています。繋がりが切れてしまったような気持ちが起こりながら、他の日常が始まり、ボランティアの優先順位が低くなっています。

東村山市社会福祉協議会 地域福祉活動計画で生まれ育つ福祉協力員さん

いつでもボランティア活動開始のOKが出たときのために「音楽活動」も工夫し練習を継続して繋がっています。でも暇でした（笑）。家族や健康に変化はありますが、私たちは自分たちの為にやっているから。自分たちが一緒に楽しんでいるんです。

ボランティア活動組織の中でのつながりが自分たちの支えあいに

ボランティア活動の目的はそれぞれ違いますが、一人では継続できないこと、活動の意欲は繋がりの関係にあることを、お話を伺って実感しました。

ボランティア同士の信頼関係が築かれ、施設とのパイプ役が存在し信頼関係の中で活動することが継続の意欲を支えていることに気づきました。

人のつながりや支えあいの大切さを改めて感じました。

（理事 蛭原）